議案第 14 号

松阪市教育長の勤務時間、休日、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について

松阪市教育長の勤務時間、休日、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例を次のように制定する。

平成 27 年 2 月 16 日 提出

松阪市長 山 中 光 茂

松阪市教育長の勤務時間、休日、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例

(趣旨)

第 1 条 この条例は、教育長の勤務時間、休日、休暇等に関し必要な事項を定めるとともに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 11 条第 5 項の規定に基づき、教育長の職務に専念する義務の特例について必要な事項を定めるものとする。

(勤務時間、休日、休暇等)

第 2 条 教育長の勤務時間、休日、休暇等については、松阪市職員の勤務時間、休暇等に関する条例（平成 17 年松阪市条例第 45 号）の適用を受ける職員の例による。ただし、同条例中「任命権者」とあるのは、「教育委員会」とする。

(職務に専念する義務の免除)

第 3 条 教育長の職務に専念する義務の免除については、松阪市職員の職務に専念する義務の特例に関する条例（平成 17 年松阪市条例第 44 号）の適用を受ける職員の例による。ただし、同条例中「任命権者」とあるのは、「教育委員会」とする。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成 26 年法律第 76 号）附則第 2 条第 1 項の場合においては、この条例の規定は適用せず、松阪市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例（平成 17 年松阪市条例第 58 号）第 7 条及び松阪市職員の職務に専念する義務の特例に関する条例（平成 17 年松阪市条例第 44 号）の規定を適用する。